

第5回クレアパリ企画展 「伝統と先端と ～日本の地方の底力～」

別添3
(参考資料)

クレアパリでは独自企画として、平成25年度からパリ日本文化会館において、現代のニーズ、技術を活かして、地方の伝統工芸品等の企画展を実施。平成27年度からは市内での販売。

☆実績 :・第5回 過去最多の18自治体が出展

- ・来場者平均 約5～6,000人規模(第1回からの平均)
- ・来訪者の反応を出展自治体へフィードバック(テストマーケティング)
- ・全18自治体から168品目の展示があり、そのうち93品目を販売
→展示期間中の商品完売(岡山県真庭市郷原漆器)

☆問題意識・目的

- ・日本の地方が有する、まだ世界で知られていない優れた伝統技術・現代的技術の世界への“気軽な露出”の機会創出。パリ市内・近郊での各種国際見本市の展示品の有効活用

☆工夫

- ・生産地が一目でわかるミニマップを自治体ごとに掲示
- ・詳細な歴史的背景の解説(フランス人的思考)「伝統→モダン(デザイン性)」
「伝統→ハイテク(他の産業分野での活用)」に沿ったわかりやすいチャート的な説明
- ・クレアパリ特設アドレスを設置。
- ・展示に引き続きパリ市内で販売
- ・所員に加えフランス語が堪能な説明員を配置し来訪者の反応を聞き取り
- ・手を触れて実感してもらう など

☆来場者の声

- ・フランスで見る機会がないので素晴らしい。このようなデザインを見たことがないので珍しい。
- ・生まれて初めて目にする素材。消臭の効能があるとは知らなかった。自然素材というのが素晴らしい。
- ・友人の家に花を持っていくよりこれを持っていきたい。
- ・面白い。フランス人にうけそうだが、パッケージが少し可愛らし過ぎるので、もう少しシックにした方がいいと思う。
- ・古来から伝わるテクニックが素晴らしい。他に転用できるようなサイズ展開があるといい。プレゼントにとても綺麗だと思う。
- ・パッケージが日本っぽくてよい。見た目が分かりやすくてよいが、金額が高い。
- ・フランスの生活の中でどうやって使うのか、使い方がよくわからない。サイズが使づらい(大きい、小さい)。



企画展の様子(第5回)